



池辺こども園 園長からの手紙

令和2年5月

「知恵」と「心」の扉を開こう

池辺こども園 園長 若山 芙蓉

咲きそろった花々には蝶が舞い、新緑の木々には小鳥がさえずっています。養老の美しい5月の風景が、また巡ってまいりました。保護者の皆様には、日頃より当園にご理解ご協力を賜りまして、ありがとうございます。

さて、先月よりの突然の休園要請や休園延長要請に、子ども達と保護者の皆様方の戸惑いのご心配は、どんなに大きいことだろうかとお察しいたします。

現在の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への当園の対応は、養老町と岐阜県の対応に沿っております。しかし、これは日本全体、さらに世界全体の直面する緊急事態への対応でもあります。言い換えると、人類の直面する難題に私達一人一人が、今、直面していると言えるのではないのでしょうか。

簡単に答えが見つからないこの難問に対して、今は、最愛の子どもとすべての人の「命を守る」ことが最優先だと考えます。そのための自覚をもった行動が、一人一人に求められています。私達池辺こども園の全職員は、「一期一会」で巡り合えたかけがえのない命を授かったすべての子ども達そして保護者の皆様方と手を携えて、この困難を乗り越えて行く所存でおります。

幸いなことに、私達人間には「知恵」が授けられています。そして人間同士が助け合う・支え合うという「心」も授けられています。人間に授けられている「知恵」と「心」で、今、私達に訪れている「ピンチ」を「チャンスに」変えていく機会といたしましょう。そのために、「知恵」と「心」の扉を開いて行こうではありませんか。